

## 令和5年度全国高校生体験活動顕彰制度事業

### 「地域探究プログラム オリエンテーション合宿 in 赤城」

#### 1. 趣旨

宿泊を伴うオリエンテーション合宿を通して、探究のプロセスを体験し、ものごとを探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力などを身に付ける。

#### 2. 事業の概要

##### (1) 期日

令和5年8月7日（月）～8月9日（水）【2泊3日】

##### (2) 参加者

群馬県立沼田女子高等学校 1年生16名、2年生4名

#### 3. 企画運営のポイント

- (1) 活動の目的や達成目標を明確にし、探究の学びのプロセスを用いて、指導計画とワークシートを作成する。
- (2) フィールドワーク先を多機能型事業所「SONATARUE」に設定することにより、医療法人大誠会グループの協力を得て、充実した体験活動ができるようにする。
- (3) オリエンテーション合宿の課題を「SONATARUE 活性化プランをつくる」に設定し、沼田女子高校の「総合的な探究の時間」の教育課程と関連させ、本合宿の成果を学校で活かすことができるようにする。

#### 4. 日程

	午前	午後	夜
8月7日 (月)	フィールドワーク① 「地域の魅力を発見」 講師：田辺 祐己 氏 (医療法人大誠会) 真下 潔 氏 (SONATARUE)	講義・演習① 「地域理解」	講義・演習② 「課題解決の基礎」
8月8日 (火)	フィールドワーク② 「地域課題の探究」 講師：田辺 祐己 氏 (医療法人大誠会)  講義・演習③ 「地域課題の探究」	講義・演習③ 「地域課題の探究」  発表①	ふりかえり
8月9日 (水)	講義・演習④ 「地域課題の探究」	発表②  ふりかえり  実践活動のためのガイダンス	



フィールドワーク①  
「地域の魅力を発見」



フィールドワーク①  
「地域の魅力を発見」



講義・演習①  
「地域理解」



講義・演習②  
「課題解決の基礎」



フィールドワーク②  
「地域課題の探究」



発表

## 6. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

満足6名（31.6%） やや満足11名（57.9%） やや不満1名（5.3%）  
不満0名

### (2) 参加者の声

- フィールドワークをして、そこで学んだことを友達と共有したり、疑問に思ったことを話し合ったりすることで、より深く考えてまとめることができた。
- グループの全員が積極的に意見や疑問を発言し、それについてみんなで考え、新たな考えが生まれたのでとても面白かった。
- 課題を考えることを難しいと感じていたが、身近なところに目を向けてみると、今まで当たり前と感じていたことに「なぜ」と疑問を持てるようになった。
- ひとつのことについて深く考える機会があまりないので、今回のような学習が苦手であることを実感した。

### (3) 成果

- 参加者から「探究のプロセス（課題設定→情報収集→整理分析→まとめ表現）をどんどん繰り返していけば、より良いアイデアが出ることがわかった。」「探究する物事についてまずは詳しく知り、そこから課題を考え、具体的で実現性が高い解決策を見出すことが大切だと思った。」などの意見があることから、探究のプロセスごとに活動の目的を明確にし、ワークシートを活用したことは、情報の整理や分析、アイデア出し、発表内容を考えるための手段として有効であった。
- 参加者から「これからも地域を自ら探検して課題を見つけて解決案を考えたい。」などの意見があることから、地域についての理解を深める上でフィールドワークは有効であり、自分の地域に目を向けるきっかけとなった。

### (4) 課題

- アイデアをまとめる時間、発表資料作成の時間、合宿後の実践活動について考える時間を十分に確保することが難しかった。各プログラムの時間を延長する、終わっていない作業に取り組める時間をプログラムの中に設定することを検討する。また、夜の自由時間に作業が可能となるようにプログラム構成を工夫する。

担当：杉山 直弥、竹内 正則、小野 北斗